

# 北陽だより

第10号 令和4年2月1日

埼玉県立大宮北特別支援学校 さいたま市西区中釘後谷2290-1

TEL 048 (622) 7111 <http://www.kitayou-sh.spec.ed.jp>



春を見つけよう (Let's find Spring)

校長 山口 伸一郎 (Principal, Yamaguchi)

今はとても寒いです。一年で一番寒い時期です。しかし、2月4日は「春の始まり」、「立春」です。強い北風はあいかわらずとても冷たいけれど、「立春」を過ぎると、春を感じさせる何かを見つけすることができます。小さな虫、小さな木の芽、小鳥のさえずり、小さな花・・・。

It's so cold now. This is the coldest season of the year. But February 4<sup>th</sup> is the beginning of spring. We call that "Risshun". The strong north wind is still very cold, but you can find something that gives you a feeling of spring after "Risshun". Some small insects, some small treetops, little birds chirping, and a small flower...

私には古い友だちがいます。彼は冬にも山に登ったり、バックカントリースノーボードをやったりしています。その彼が話してくれました。  
「冬山はすべてが凍てついた雪と氷の世界だ。でも、木々は雪の中でも芽吹き準備をしている。木々の枝先を見てごらん、小さな木の芽があるよ。それはとても硬くて小さい。でも、それはやがて膨らみ、若葉や花になるんだ。」

I have an old friend. He often climbs a mountain and goes back country snowboarding in winter. He said "Winter mountains are all frozen snow and ice. But the trees are preparing to sprout even in the snow. Look at the treetops, you can find some small tree buds. It's so hard and small. But it will be swell, become young leaves and flowers."

私は、本校の児童生徒の皆さんも雪山の木々に似ていると思います。彼女はとても幼く見える。彼はとてもかたくなに見える。しかしながら、みんな、来るべき春に向けて少しずつ準備している。私たち教職員や御家族の方々、それに気づき、見守り、育てなければなりません。

I think our students are similar to the trees in the snowy mountains. She still looks so young. He still looks so stubborn. However they are preparing little by little for the coming spring. We (our school staff and their families) have to aware of it, watch over it, and raise it.

新型コロナの重苦しい季節はもうしばらく続くかもしれません。それでも、春はやってきます。春を感じる何かを見つけましょう

The heavy season of Covid-19 may continue for a while. Still, spring is coming. Let's find something that feels spring.

## 「小学部 5年生 季節の行事」

1月の生活単元学習「季節の行事」について紹介します。まず、冬休み明けすぐに初詣に行きました。冷たい風が吹く中でしたが、みんな黙々と歩き、あっという間に現地に到着。4年生の頃から比べて、学年みんなで歩くのが上達しました。お寺では一人ずつ鈴を鳴らし、お参りをすることができました。1月の中旬には書初めをしました。大きく「寅」「とら」「お年玉」と書いたり、思うままに筆を動かすのを楽しんだりしました。書初めと一緒に飾る寅の顔も作りました。教室前に掲示しましたので、来校された際には是非ご覧ください。



## 「中学部 3年生校内実習をやりました」

中学部 3年生は、高等部入学選考を控え、日々、あこがれの高校生になれるように努力しています。12月には、高等部の先輩や先生たちにインタビューを行い、調べ学習をしました。どんな勉強や活動があるのか、期待に胸を膨らませています。1月17日(月)からは、進路学習の一環として、5日間、校内実習を行いました。活動は、中学部のたくさんの家庭が協力して集まった缶の「缶つぶし」です。皆、事前学習から熱心に参加し意欲的でした。全体目標として、「あいさつやほうこくをする」「しゅうちゅうしてとりくむ」「どうぐをていねいにつかう」の3点を掲げ、加えて個人目標も決めて取り組みました。どの生徒も、缶を潰す工程や、潰した缶を運ぶことなど、活動を理解して見通しを持って取り組みました。また「おわりました」と自分から報告をすることなど、目標を意識した様子も見られ、いつの間にかこんなに成長したのだらうと、うれしい驚きがたくさんあった実習になりました。中学部卒業まであとわずかですが、小さな努力を重ねながら成長し、卒業を迎えてくれると思います。



## 「高等部 1年生 校内実習に取り組みました。」

2年生から始まる現場実習へ向けて、1/17(月)~1/21(金)の5日間、校内を職場に見立てて校内実習に取り組みました。企業様に御協力頂き、今年度は①リサイクル班(廃棄されるカレンダーの分解、分別)②リネン班(飲食店等で使用するタオルたたみ)③組み立て班(新品のシャープペンシルの組み立て)の3つの班に分かれて取り組みました。生徒達は仕事に取り組みながら、挨拶や身だしなみ等仕事に取り組む上で大切なことを学びます。「大変だったけれど、やりがいがありました。」と感想を述べた生徒がいました。大変なことも多かったですが、生徒達は5日間仕事を続けられたことが自信になったり、仕事に対するイメージを具体的にもつことができたようです。

